

大和ハウス工業は、プレミスト船橋塚田において、カラーゼットの主旨に賛同し概念検証（エリア集中利用）を行っていく予定です。

プレミスト船橋塚田 計画概要



計画のポイント



多世代に優しく、
居心地のよい
街づくりを目指して



デザインのある暮らし



歩くのが楽しい街



子育て&カルチャー



スポーツ&アウトドア



ワーク&スタディ



【中庭】完成予想図



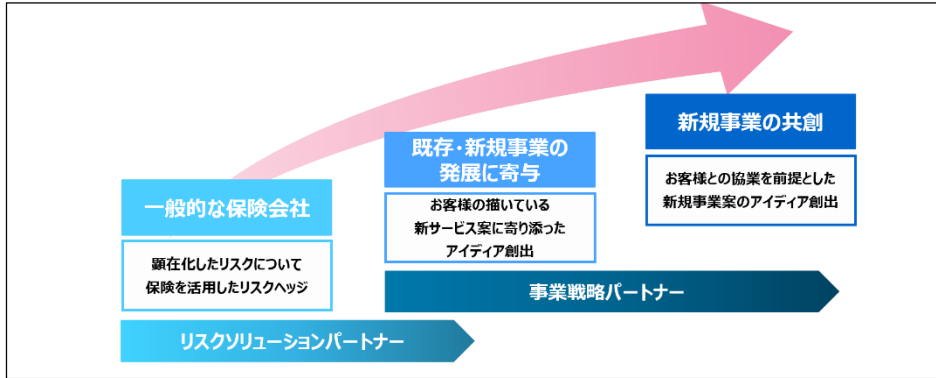
【外観】完成予想図

※標準分層は19~20mとして算出(換算値)を上げたものです。※記載の完成予想図は設計図をもとに描き起こしたもので、実際には多少異なる場合があります。形状・仕様・価格等については各官公庁の指導及び設計・施工の都合により変更が伴う場合があります。標準・オプション等外観・設備等、Tポイント券内紙にない設備・仕様等が有る場合があります。また、竣工時は高気圧等設計図とは異なる場合があります。また、設置・取付け等は標準に多少異なる場合があります。※(仮称)船橋二小学校の敷地内は、当該敷地内(仮称)船橋二小中学校敷地内とは、あくまで仮称であり、実際の敷地内は、必ずしも敷地内とは異なる場合があります。また、敷地内は、当該敷地内(仮称)船橋二小中学校敷地内とは、あくまで仮称であり、実際の敷地内は、必ずしも敷地内とは異なる場合があります。また、敷地内は、当該敷地内(仮称)船橋二小中学校敷地内とは、あくまで仮称であり、実際の敷地内は、必ずしも敷地内とは異なる場合があります。

1. 事業戦略パートナーとしての価値提供

AIや自動運転技術に代表されるテクノロジーの進展や自然災害の激甚化、少子高齢化や人口動態の変化など、保険業界をめぐる環境変化は激しい一方で、デジタル接点の飛躍的増大やAIテクノロジーの普及、情報通信の高度化といった技術の発展により、新たなリスク出現等に伴うビジネスチャンスの拡大も期待されています。

当社は、お客様のリスクに対して従来型の保険提案をさせて頂く「リスクソリューションパートナー」に留まらず、お客様と共に新しいマーケットの創造や既存事業の発展を実現していけるような「事業戦略パートナー」を目指します。

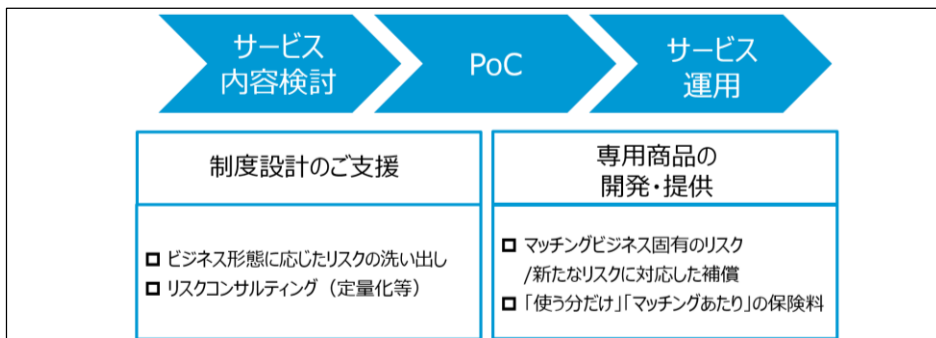


2. シェアリングエコノミーの発展に向けて

シェアリングエコノミーは、個人や社会に対して新たな価値を提供し、経済の活性化・生活の利便性向上に資することが期待されています。

しかし、シェアリングエコノミーは遊休資産を活用し誰もが気軽に参加できる新たなビジネスモデルであることから、マッチングビジネス事業者には、人々が安心して利用できるように様々な対策を講ずることが求められています。

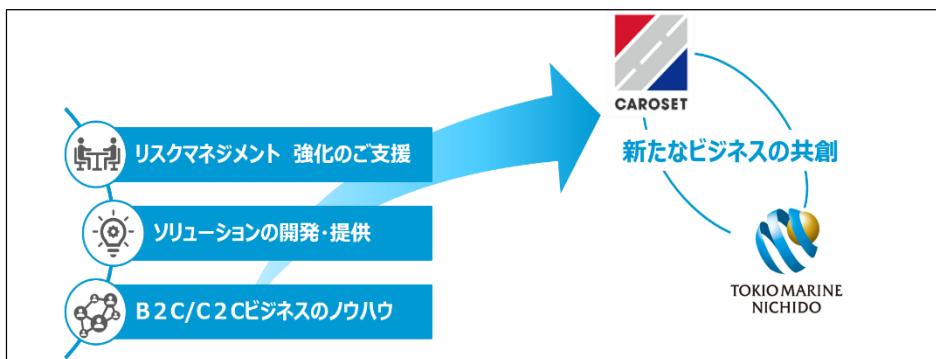
当社は「お客様の信頼をあらゆる事業活動の原点におき、『安心と安全』の提供を通じて、豊かで快適な社会生活と経済の発展に貢献します」という企業理念の下、マッチングビジネス事業者へのソリューション提供を通じて、より安心・安全なシェアリングエコノミー事業の推進に貢献してまいります。



3. カローゼットとの協業

カローゼットの事業立ち上げにおいては、当社が持つシェアリングエコノミーに関連したソリューションやノウハウを活用し、より安全・安心なプラットフォーム構築に向けた支援を行ってまいりました。

今後も「事業戦略パートナー」としてソリューションの開発・提供やB2B/C2Cビジネスのノウハウの活用を通じ、カローゼットの発展とOPAの更なる展開を支えるとともに、新たなビジネスの共創を目指します。



■Fujisawa サステナブル・スマートタウン (SST)

パナソニックの工場跡地を活用し、藤沢市、18団体が参画するFujisawaSST協議会(※)が進める住宅中心の郊外型複合スマートタウンです。暮らし起点のまちづくりを通じ、タウンマネジメント会社を設立し、100年先も進化・発展する街の実現を目指しています。

(公式WEBサイト：<http://fujisawasst.com/JP/>)



所在地	神奈川県藤沢市辻堂元町6丁目4番1号	
敷地面積	約19ha (約6万坪)	
施設概要 ※計画中のものを含む	戸建住宅600戸、集合住宅400戸 商業施設：湘南T-SITE 次世代物流拠点：ネクストデリバリースクエア タウンマネジメント施設：Fujisawa SSTスクエア	公共施設：コミティセンター 健康・教育・福祉施設：ウェルネススクエア
まちのコンセプト	生きるエネルギーがうまれる街。	
まちの完成	2022年以降を予定	

■Fujisawa SST協議会 (18団体、2019年12月10日現在)

代表幹事：パナソニック株式会社

幹事会員：株式会社学研ホールディングス／株式会社学研ココファンホールディングス、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社、湖山医療福祉グループ社会福祉法人カメラア会、株式会社電通、東京ガス株式会社、パナソニックホームズ株式会社、東日本電信電話株式会社、三井住友信託銀行株式会社、三井物産株式会社、三井不動産株式会社／三井不動産レジデンシャル株式会社、ヤマト運輸株式会社

一般会員：株式会社アインファーマシーズ、アクセンチュア株式会社、サンオータス株式会社、総合警備保障株式会社

※アドバイザーとして、慶應義塾大学SFC研究所、東京電力エナジーパートナー株式会社、株式会社日本設計、藤沢市、Fujisawa SST マネジメント株式会社 が参画

■街のインキュベーション活動「まち親」

産官学・住民が共創する「まち親」プロジェクトを立ち上げて、街を活用して新しいサービスや製品のインキュベーション活動を進め、100年先も続く街づくりに取り組んでいます。



街の情報発信



実証・マーケティング



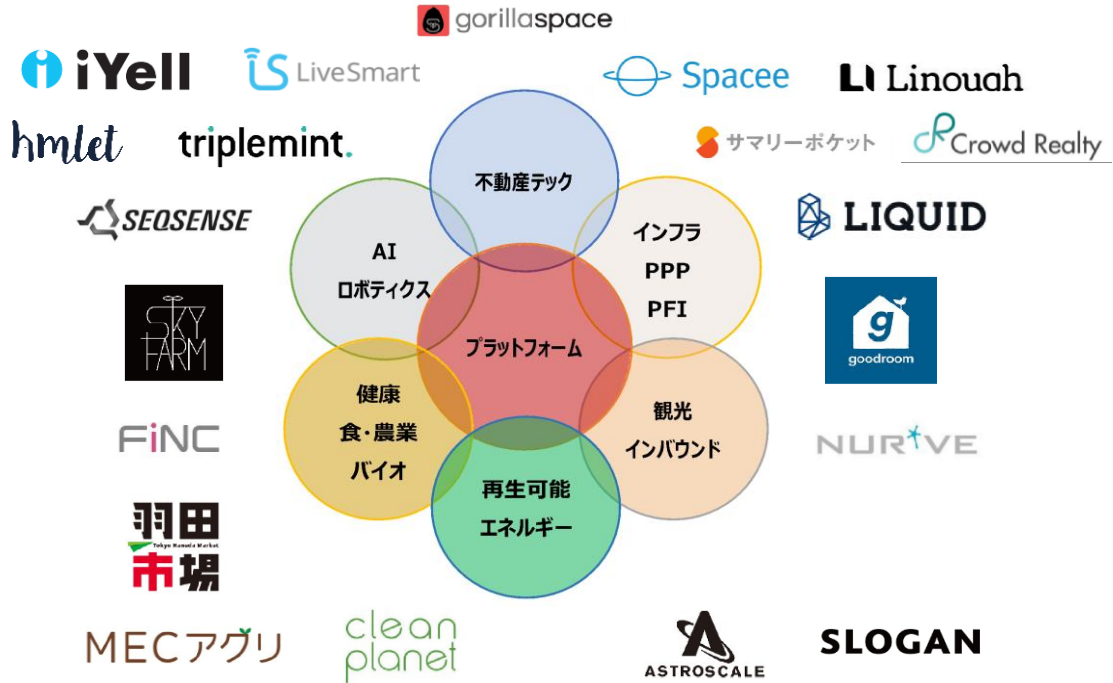
コミュニティ醸成活動



<三菱地所グループにおける新事業創造に向けた取り組み>

三菱地所グループでは、中期経営計画において、2020年代の更なる成長に向けたビジネスモデル革新の推進を掲げており、既存事業を進化させるとともに、新規成長領域への進出を図るべく、様々な取り組みを進めています。デベロッパーとして、国内外のスタートアップ企業の拠点整備やエコシステムの構築を図るとともに、スタートアップ企業やベンチャーキャピタルへの出資を推進し、本年11月には第3回目となる「コーポレートアクセラレータープログラム」の参加企業募集を開始しています。

(参考) 新事業創造に向けた7つの注力分野と出資先(一部)



<三菱地所グループでの取り組み>

仙台市郊外の泉パークタウンでは、「人と自然の調和した快適な住環境」と「住む」「働く」「憩う」「学ぶ・集う・楽しむ」といった多彩な生活機能を備えた複合型の都市構築をテーマに、三菱地所グループが中心となって40年以上にわたり街づくりが進められています。

今回、泉パークタウンにて、CAROSETのエリア利用プログラムを導入し、お住まいの皆様に向けた登録サポート会を実施するとともに、登録頂いた方への特典をご用意し、利用促進を図って参ります。

今後、泉パークタウンでの実証結果を踏まえ、当社他エリア・施設への展開可能性等の検証、および「Open Personal Asset(OPA)」の概念を活用した、新たなビジネスモデルやサービスの検討を進めて参ります。

